



熊本市立大江小学校

# ときめき

2022.10.18(火)

No. 90



文責  
松永

## 校外での活動を通して学びを深めています④ 五年生現地に出向いて「水俣に学ぶ肥後っ子教室」

12日(水)の早い時間に集合、出発したのは5年生でした。行き先は、水俣方面です。熊本県下の5年生は水俣に出かけて行き、水俣病についての学習や語り部講話、環境学習などに取り組む「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を行うことになっています。現地に到着して、最初のプログラムは水俣病情報センターの見学で、館内にある写真や映像に関心高く見入っていました。続いて行ったのは、環境学習でした。現在、総合的な学習の時間でも学習しているSDGsをテーマに、環境問題について講話を聞いた後に、パックテストを使って水の汚れについて実験をしました。排水として流した場合、それをきれいにするために水がどれ位必要なのかといった話もありました。自分たちの住む地球の環境を守るために、そしてこれから先も必要となる資源を守るために、自分たちにできることを考える必要があることを、一人一人が考える時間になったと思います。お昼ごはんは、きれいな海が見える場所でいただいて、午後のスタートの環境センター見学へと進みました。簡単な実験や体験を通して学べるよう



なっていましたので、子どもたちは興味津々で回っていました。学びの丘と名づけられたコースを歩きながら、続けてのプログラムである語り部さんの講話を聴くために、水俣病資料館へと移動しました。

今回の講話はご家族が水俣病患者となり、様々な体験やいろいろな苦勞をされてこられた杉本さんが担当されました。実体験されているからわかる苦惱や葛藤、繰り返してはならないという強い思いなどが伝わるお話でした。「水俣病になったから辛いのではない。差別されたことが辛かった。でも仕返しはしなかった。耐えたから強くなれた。」と、病気を受け入れる覚悟をしてご自分の命と向き合われたご両親の言葉を紹介されました。そして、「相手のことを思いやることができる人になってほしい。人とのつながりを大事にしてほしい」といった杉本さんからのメッセージは、子どもたちにも伝わったと思います。最後に、水俣病資料館を見学しましたが、館内の資料をもとに水俣病のこれまでの歴史を振り返ったり、貴重な写真や映像を見たりしながら、学びを深めた子どもたちでした。自分が考え、できることを行動にうつしてほしいと思います。



## 10/16 熊本市震災対処実動訓練が行われました

10月16日(日)午前9時に、熊本地方を震源とする震度6弱の地震が起こったという想定で、震災対応の実動訓練が行われました。先生方の安否確認をするためにメールの配信テストと体育館を避難所として開設し、運営するための手順などを熊本市の担当、地域の担当の方々と一緒に確認しました。

